

## 特定技能外国人として初！ 当社で活躍する2名が熱絶縁施工技能士1級に合格 外国人人材の働きやすい環境づくりやスキルアップに向けた取り組み

保温・保冷工事を手掛け国内トップシェアを誇るナイガイ株式会社（本社：東京都墨田区、代表：浅井 康雄）で活躍するベトナム人の特定技能外国人2名が、10月4日（金）、特定技能外国人として初めて、熱絶縁施工技能士1級の資格試験に合格しました。当社では、7年前より外国人技能実習生を採用しており、現在では55名が在籍し、9名はすでに在留資格を技能実習から特定技能へ移行し活躍しています。今回、技能実習生出身の特定技能外国人である2名の挑戦の背景や、当社が行っている外国人人材の働きやすい環境づくりやスキルアップの取り組みについて紹介します。



今回、熱絶縁施工技能士1級の試験に合格した当社の特定技能外国人グエンカイン クエット（左）とチェウタイン ロン（右）

### 合格率4～5割の熱絶縁施工技能士1級試験、特定技能外国人として初の合格

少子高齢化が進みさまざまな業界で人手不足が課題となっている中、外国人人材への期待も高まっています。政府は、令和5年度までの5年間で34万人としていた受け入れ上限数も、10年度までの5年間で、それまでの約2.4倍の82万人に拡大、さらに途上国への技能移転を目的とし帰国を前提とする技能実習生制度に代わり、外国人の育成と就労の双方を目的とする「育成就労制度」を令和9年度までに始める予定です。当社でも多数の外国人人材が活躍していますが、彼らの定着やスキルアップにも取り組んでおり、今回の資格試験への挑戦もその1つです。

今回、当社の特定技能外国人2名が合格した熱絶縁施工技能士とは、保温保冷工事や硬質ウレタンフォーム断熱工事などの熱絶縁工事の施工に必要な知識や技術を有することを証明する国家資格です。1級資格の受験には、7年以上の実務経験、または2級合格後2年以上の実務試験が必要とされており、合格率4～5割といわれる難関ですが、本資格における特定技能外国人初の合格者となりました。





## 「家族を日本に呼び寄せたい」との思いから特定技能 2 号の資格取得を目指し、受験へ

当社では、ビルなどの建物で冷暖房を使用する際に、各部屋までに温水・冷水を送るにあたり、その温度を維持し、冷暖房効率を下げないようにする保温保冷工事を行っています。今回受験した特定技能外国人 2 名も配管やダクトに保温材を施工する保温工として日ごろから現場で業務を行っています。

2 名はいずれも技能実習生として当社で働き始め、2023 年 1 月に特定技能 1 号に移行し、7 年目を迎えたことで、熱絶縁施工 1 級技能士の受験資格を得ました。先輩社員からの薦めや、毎年新しい技能実習生が入ってくる中、当社初の技能実習生という自負もあり、実力を試す機会として受験を決めました。また、本資格合格により特定技能 1 号から 2 号へのキャリアアップが叶い、ベトナムに残した家族を日本に呼ぶことができることが、大きなモチベーションになりました。今後、一定の要件を満たすことで日本の永住権の取得も視野に入ります。先の未来を見据えることでモチベーションを維持し、日々実技試験・学科試験に向けて努めてきました。



クエットとベトナム在住の家族

## 専門用語など日本語に苦戦。「社員に積極的に質問する」よう社長からのアドバイスも

7 月に行われた実技試験では、2 か月前から毎週、先輩社員が試験対策を行ってくれたこともあり、2 名とも好成績で合格しました。しかし、2 次試験となる学科試験では、専門用語を含む日本語という言葉の壁に加え、保温保冷以外の配管・ダクト・建築・電気など、建築に関わる総合的な問題も試験範囲に含まれており、苦戦してきました。

社長から「調べるよりも直接先輩社員に聞いたほうが早い」というアドバイスもあり、直接支店長に質問し、過去問を繰り返すなど、社内のバックアップ体制もありました。時には、二人から社長に試験問題をクイズにして出すようなやり取りもあり、社内全体で応援する環境・空気が生まれていました。



学科試験に向けて行った社内の勉強会

## 技能実習生からの多数の応募・高い継続率を叶える当社の取り組み

7 年前から技能実習生が活躍する当社では、オファーを出した際、ベトナム・インドネシアからすぐに候補者が集まってきます。実習生の送り出し機関によれば、他社と比較しても継続率が高いといわれています。その理由として以下のような点が挙げられます。

### ① 自社寮完備による手取り額の確保と安定した収入

当社では、技能実習生の賃金は、東京の最低賃金を全国で適用しているため、地方では他企業より優位になるのに加え、保冷保温工事専門会社として国内トップシェアで常に一定の仕事があることから実習生は安定した収入を得ることができます。また、自社で寮を完備してあるという点も金銭的負担の軽減になり、魅力に映っています。

### ② 大量採用で気の合う仲間をつくりやすい

少数受け入れの企業の場合、社内に気の合う人間がいないと、他社の人間と交流を深め、他社への関心・魅力が高まります。当社の場合、受け入れ人数が多いために、気の合う仲間を見つけやすいというのも継続率が高い理由のようです。

### ③ 施工管理職と技能員という社内のちょうど良い距離感

建築現場において技能実習生は、技術承継のため熟練の職人のもとで厳しく指導されるケースが多々あります。それに対し、当社の社員は多くが施工管理職であるため、技能実習生に現場で技術面の指導を行うのは他社の協力会社の社員がほとんどです。そのため、社員とは直接の上下関係ではなく、現場の「技能員と施工管理者」という協力関係になり、適度な距離感も生まれ、働きやすいとされています。



## 今回、資格試験に合格した特定技能外国人 2 名のプロフィール

### グエンカイン クエット

1994 年生まれの 30 歳。短期大学卒業後、ベトナムで電気技術の企業に入社。その後、2017 年 6 月に技能実習生として来日。2023 年 1 月に在留資格を技能実習 3 号から特定技能 1 号に移行。

### チェウタイン ロン

1990 年生まれの 34 歳。高校卒業後、徴兵制度により入隊。実家の農業を経て、2017 年 6 月に技能実習生として来日。2023 年 1 月に在留資格を技能実習 3 号から特定技能 1 号に移行。

### 【ナイガイ株式会社 企業概要】

2023 年に創業 100 年を迎えた、国内トップシェアを誇る保温保冷工事専門会社です。関東大震災の翌月に創業、震災からの復興により発展、現在に至るまで数々の国内のランドマークとなる建物に携わってきました。保温保冷工事会社として唯一全国展開しており、26 の拠点の他、700 を超える協力業者とのネットワークを強みとし、国内トップシェアを誇ります。

社 名	ナイガイ株式会社
代 表	浅井 康雄
所 在 地	東京都墨田区緑 1-27-8
ホームページ	<a href="https://www.naigai-co.co.jp/">https://www.naigai-co.co.jp/</a>
T E L	03-3635-6211
設 立	1923 年 10 月 25 日
事 業 内 容	保温・保冷工事、耐火被覆工事、ダクト工事、外装工事、一般内装工事

### プレスリリースに関する報道関係者お問い合わせ先

広報事務局 担当：佐藤

TEL : 03-3635-6212 E-mail : y-sato@naigai-co.co.jp